

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「小諸まちなかマルシェ」のブランド化事業
事業主体 (連絡先)	小諸商工会議所 小諸市相生町3-3-12 (電話 0267-22-3355)
事業区分	(1) 地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,243,400 円 (うち支援金: 1,630,000 円)

事業内容

～人にやさしく地球にやさしいマルシェを目指して～

私たちの住む街信州小諸の魅力を皆でシェアしながら、ひとにやさしく、地球にやさしい暮らしを目指していきたい。安心な地元の食材、身体に、地球にやさしい食の提案。添加物の心配のない手作りおやつ。心が和むハンドメイド作品。地元で活躍する様々な皆さんの活動紹介など、出店する人たちも遊びに来る人たちも、みんなで楽しめるマルシェを目指していく。

1. 小諸まちなかマルシェの開催 (7月、10月、12月、2月)・雑貨販売、飲食販売、活動PRブース
2. 広報・ロゴ、チラシ、ホームページ作成等



【小諸まちなかマルシェ ロゴ】

【目標・ねらい】

- ①市民の認知度の向上
- ②出店者、来場者の増加
- ③街中への賑わい創出

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①市民の認知度の向上

Facebook ページへの「いいね！」が700を超えており、認知度は以前よりも高まった。また、出店者の予約受付は開始から1時間で全ブースが埋まるほどになり、キャンセル待ちが出るほどになった。

②出店者、来場者の増加

出店数 h28.7月 44店 → h29.2月 58店 (30%増)

来場者数 h28.7月 916人 → h29.2月 1,025人

③街中への賑わい創出

街中を紹介したマップを会場内で無料配布し、来場者を市街地へ誘導した。

※自己評価【A】

【理由】

出店数、来場者数ともに回を重ねるごとに増加。小諸市、小諸市教育委員会の協力もあり、回覧等でPRすることもできた。また、屋内での開催とすることで、天候に左右されることなく実施。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今年度で「小諸まちなかマルシェ」ブランドを確立することができた。市民の認知度も回を重ねるごとに広まっている。次年度以降も継続して開催し、来場者数の更なる増加を目指す。出店数については会場の広さとの兼ね合いもあるため、これ以上の増加は現状では見込めない。

今後は出店者たちで作る「小諸まちなかマルシェ実行委員会」が主体となり、実施運営していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある